

## 2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 東浦町立緒川小学校 ] 担当教諭名 [ 和田 英利香 ] ( 6年3組 92名 )

相手国・地域 [ インドネシア ]

海外学校名 [ SDN Wonokusumo 5 Surabaya ] 担当教諭名 [ Yazid Ahmad ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界とつながろう ～アートマイル～	10
	図工	味わってみよう和の形	2

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

<b>題 (テーマ)</b>	私たちが考える、未来の世界平和
<b>メッセージ</b> (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	私たちが未来の世界平和を実現していくために、今、私たちにできることは何だろう？未来に残していきたいことは何だろう？と考えて作成しました。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本側の作品ができあがった辺りから、子どもたちも自分たちが世界とつながっていることに実感が出てきたようで、とても意欲的に取り組むことができた。</li> <li>・フォーラムを通して相手国の写真もたくさんアップされていたので、生活の様子を知ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は、どうやって(何と言って)連絡をとっていいかわからず、大変困った。→一度経験すれば、解消されると思うが。</li> <li>・相手国と頻繁に連絡がとれないと、進めず難しい。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで、自分のこと、日本のことしか考えていなかった子どもたちにとって、世界というものが身近になったと思う。卒業式の答辞にも、アートマイルを通して世界とつながれたことが思い出に残ったとあった。</li> <li>・書物やリトルワールド(世界のことを知ることでできるテーマパーク)で学んだインドネシアの文化と、アートマイルの絵が合致して、深く理解できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行では世界の国々を訪れて、文化を知ることができていたが、両方の国の子どもを通してインドネシアのことを一緒に学んでいくことができ、とても楽しかった。子どもならではの、とらえ方もあり「なるほど！」と感じた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月 9月	インドネシアや世界の国々について調べる。 自己紹介	文化、食事、自然、動物など、子どもたちにとって身近なテーマで進んで調べ学習をしていた。	総合4
共有 テーマ学習	9月 10月	自分が考える未来の世界平和について、英文でポスター作り。	一人一人が世界平和について考えることができた。英文で書くことで伝える喜びや異文化と触れる楽しさを感じていた。	総合4
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	ポスターの意見を参考にプロジェクトが構図案を考える。話し合いで構図を決定し、下書きをフォーラムで提案する。	「未来に残していきたいもの」「それぞれの国の伝統や文化」を描きたいという意見が出た。	総合1
創造 壁画制作	11月 12月	プロジェクトを中心に下絵や配色を検討し、クラス別に全員で色塗りをする。	慎重に、丁寧に色塗りをしていた。桜の花は世界の平和をイメージして一人一人が色を付けた。	図工2
評価 振り返り 自己評価	3月	作品とともに記念撮影をして、作品鑑賞会を開く。卒業式の会場で展示をする。	完成した壁画を見て、相手とつながったことを実感することができた。	総合1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	2学期に実施した修学旅行で実際に見学した寺院を紹介したい自文化としてデザインに取り入れていた。
異文化を理解する力	3	インターネットでの調べ学習を短い時間で実施することしかできなかった。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	自分が考える未来の世界平和について、意見を英文に直し、絵入りのポスターを作ることができた。フォーラムを通して、相手国にも伝えることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	インドネシアについて進んで調べ学習に取り組んでいた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	相手に興味をもち、良好な関係を築きプロジェクトを中心に学年全員で活動を進めることもできた。
主体的に考え行動する力	4	学級内でグループに分け、分担した役割に責任をもって取り組む子どもが多かった。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	どのような壁画ができるのか楽しみにしている子どもたちもいた。相手国からの手紙や写真は毎回よく見ていた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	学年全員で個々にデザイン案を考えた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	一つの作品に仕上がったことに達成感を感じていた。